

資料

平成7年5月23日
全日本実業団剣道連盟 事務局

実業団女子剣道大会に係るアンケート集計結果 (報告)

前回の臨時理事会(3月13日)において、会長から、今後の検討課題として高齢者大会、女子大会が考えられる、これらについて会員がどう考えているかを把握するため、手初めに女子大会開催についてアンケートをとり検討資料にしてはどうか、との提案に基づいて去る、4月にアンケートを実施したので、その集計結果を報告する。

アンケート調査依頼文 要旨
男子主体の剣道大会のほか、女子の剣道大会を開いてほしい、との要望がありますが、実際にどれくらいのチーム、人数が参加出来るか等不明な問題が多くありますので、ここに、その実態を調査し、女子剣道大会開催の検討資料と致したいと考えます。(事務局名で発信)

調査期間：平成7年4月10日～4月25日 15日間
 発送数：367通、 回答数 238通、 回答率 64.9%
 女子部員： いる 144団体 (60.5%)、 いない 94団体 (39.5%)

1. 部員数別 (単位：団体)

調査項目	部員数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	10	12	15	17	20	合計
女子部員が いるか	いる	44	23	27	8	17	9	4	5	3	1	1	1	1	1	144
	いない	94														94
女子大会に 参加するか	する	2	17	12	22	6	15	7	3	5	2	1	1	1	1	95
	しない	92	27	11	5	2	2	2	1		1					143
試合はどれ を望むか	団体戦	19	5	4	19	7	9	8	3	4	3	1	1	1	1	85
	個人戦	8	21	8		2	2	1								42
	無回答	65	15	9	2											91
団体戦はど れを望むか	3人制	22	14	10	23	8	15	4	3	5	2				1	107
	5人制	6	1				2	4	1		1	1	1	1		18
	無回答	66	29	13	3			1								112
団体、個人戦何れでも可	2	3	2	4	1	6		1	1							20
3人、5人制何れでも可		1		1												2

2. 地区別 (単位：団体)

調査項目	地区	関東	中部	近畿	九州	合計
女子部員が いるか	いる	103	15	22	4	144
	いない	60	13	14	7	94
女子大会に 参加するか	する	68	12	13	2	95
	しない	95	16	22	10	143
試合はどれ を望むか	団体戦	51	12	17	5	85
	個人戦	32	6	3	1	42
	無回答	65	10	11	5	91
団体戦はど れを望むか	3人制	69	12	21	5	107
	5人制	11	4	2	1	18
	無回答	83	12	12	5	112
団体・個人戦 何れでも可		15	1	4		20
3人・5人戦 何れでも可		1		1		2

(注) アンケートの各項目別割合は次のとおりである。
 1. 大会に参加するか = する 40%、参加しない 60%である。
 しかし、参加しないのうち部員がいないため参加しないとする団体が92団体もあり、これを除くと21.4%となる。
 また、女子部員がいる144団体を対象とした参加有無の割合は(除く部員不在団体)
 参加する 64.6%、しない 35.4%である。
 2. 試合方法はどれを希望するか = 団体戦 35.7%、個人戦 17.6%である。
 3. 団体戦は何人制を希望するか = 3人制 45%、5人制 7.6%である。
 4. 団体戦、個人戦どちらでもよいとするものは8.4%である。
 以上

意見、要望等

アンケートの回答から女子大会についての主な意見、要望等を集約した結果、開催賛成の意見が多いが、女子部員不在、技量不足、参加する費用等の理由で参加を見送りたいという団体が若干ある。しかし、開催に反対する意見はなかった。

主な意見等は次のとおり。

1. 剣道人口減少の中、最低確保チームで出来る限度で開催出来たら大いに結構な事であり、試合の少ない女子剣士にとっては希望若しくは意識の高揚にもなるのではないかと思う、是非実現してしてほしい。
2. 1事業所1チームでは団体戦メンバーが組めない、会社や事業所を偽るところが出るのではないか、まず個人戦から始めてはどうか。
3. 団体戦参加チームが少なければ各社1名程度の代表者で個人戦も同時に開催してはどうか。
4. 団体戦では参加チーム編成が難しい会社もあると思う、個人戦、若しくは合同チームとすれば参加チームも多くなると思う。
5. 女子部員がいないため参加できないが、剣道を更に発展させるためには女子大会の開催は是非必要と思う。
6. 女子の入部も随時あるが業務の変化、地域的な諸問題から定着性、持続性が難しい、定期的な試合は困難である。
7. 女子部員が少ないため団体戦はむり、個人戦なら積極的に参加する。
8. 人数が揃えば団体戦に参加したい、但し3人制、個人戦よりも団体戦を考えている。
9. 女子の大会が開かれれば励みになる、底辺拡大にプラスとなる、開催賛成。
10. 社会人女子大会に4回出場、幹事会社として運営してきた、相談したい。
11. その他。
 - ① 景気動向で女子採用削減、現部員も結婚退社で減少のまま当分望めない。
 - ② 女子部員少なく大会出場は無理、しかし他の会社で充実していれば大会を開き発展させてほしい。
 - ③ 参加を検討するが遠隔地でやる場合、予算を会社が対応してくれるかが一番問題。
 - ④ 女子大会単独は企業行事として不適當、男子大会と同時に開催することが大切。
 - ⑤ 女子部員は少ないが企画は結構と考える。

以上

〔ご参考〕

関東女子社会人剣道大会の概略（平成6年7月実施分）

1. 主催 関東女子社会人剣道倶楽部。
2. 後援 全日本剣道連盟。
3. 開催時期 例年7月。
4. 開催場所 荏原製作所畠山記念体育館、4会場使用（所在地＝羽田）。
5. 審判員 36名。
6. 試合方法 団体戦（3人制）、トーナメント方式（1回戦はリーグ戦）。
7. 参加数 38社、チーム数は55チーム（1社の複数出場を認めている）。
8. 参加資格 ① 関東女子社会人剣道倶楽部の会員である企業法人に所属する社員、嘱託、継続的雇用の臨時社員・派遣社員。
② 会員以外は幹事会が認めた場合に参加でき「特別招待」として扱う。
9. 表彰 優勝、準優勝、3位（2チーム）、優秀選手賞（優勝チームからの推薦）。
10. 敢闘賞 4チーム（除く、ベスト8の優勝、準優勝、3位）。

以上